

## 【平成 25 年 2 月から平成 30 年 4 月までに飯塚病院にて内服用抗菌薬レボフロキサシンの治療を受けられた患者さん、及びご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

飯塚病院における内服用レボフロキサシンの処方状況調査

### 【研究背景・目的】

レボフロキサシンという抗菌薬は、フルオロキノロン系抗菌薬と呼ばれる抗菌薬のうちの 1 つで、感染症の原因となる微生物（細菌）を殺すためのお薬です。様々な細菌を殺すことができる効果を持っていて、内服薬もあることから非常に使いやすい抗菌薬です。しかし、最近では、使いやすい反面、使い過ぎが原因で耐性菌の出現が問題となっています\*1。また、レボフロキサシンは、腎臓が悪い方には、減量したり、服用の間隔を広げたり、飲み方の調節が必要なお薬です。そのため、耐性菌を増やさないためや患者さんの安全を守るために正しく使用しなければなりません。そこで、本調査では、当院の抗菌薬適正使用支援チームの活動の一環として、まずは、内服用レボフロキサシンの処方状況を調査しました。

\*1：耐性菌（たいせいきん）とは、本来なら治療可能な細菌が、抗菌薬に対して抵抗性を持つようになったものです。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、倫理委員会承認後から平成 30 年 11 月 25 日です。
- ・対象：平成 25 年 2 月 1 日から平成 30 年 4 月 30 日までに飯塚病院にて内服用抗菌薬レボフロキサシンの治療を受けた患者さん
- ・取得情報：処方薬剤名、処方量、処方期間、処方診療科、入院外来区分、年齢、性別、血清クレアチニン値、体重

### 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 薬剤部 金澤 康範

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 薬剤部 梅田 勇一

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）